



国際社会に生きる力を培う

校長 上原健治

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様に、謹んで新春のお慶びを申し上げます。午年を迎え、「一馬の奔る、一毛の動かざるは無し」のごとく、今年 of 教育活動が始まりました。二学期後半は全児童数450名でのスタートです。子供たちが、明るく元気に教育活動が展開できるように、教職員一同、心新たに努めてまいります。

さて、社会の動きから特に感じることは、今後、私たちは、国際社会に生きるために、何を目指し実現していくかが問われているということです。政治経済だけでなく、教育の世界の役割もその真価が問われています。

教育の面から確かに言えることは、子供たちの将来の舞台像を視野に入れた教育活動を展開することの大切さです。日本の伝統や文化を生かしつつ、世界を意識した教育活動を展開し、グローバルに活躍できる人材の育成が不可欠な時代です。昨年末、文部科学省が、小学校英語教育を数年後、(1)小学3・4年生で週1回程度、英語に親しむ。(2)5年生から週3回程度、教科化した英語を行う。と方針を示したことも、一つの表れです。語学力だけでなく、主体性や挑戦する意欲、異文化に対する理解など、向学心・向上心を伴う総合的な力量です。

この年末年始、私が一番感銘を受けたことは、元サッカー日本代表監督岡田武史さんの中国・杭州緑城(浙江省)の監督を務めた経験談でした。特に、①お互いの誇りを尊重することの大切さ。②監督を務めたチームの成績は決して良くなかったが、引退会見の雰囲気も岡田監督への温かい言葉が目立ったこと。③サッカーに取り組んでいる中国人も日本人の若者も健闘していること。この三点は、子供たちが、国際人への第一歩として歩みだすために、教育にたずさわる私たちにとって、何を実践していかななくてはならないのか、大きな示唆を与えてくれる経験だと感じています。同時に、岡田監督の2010年W杯16強入りの手腕も見事でしたが、その後の人生の生き方、サッカーを通してのスポーツ観に魅力を感じさせられたことも事実です。

次世代を担う向山小児童一人一人にとって、小学生のこの時期に、国際社会に生きる力を培うために、何を優先して取り組むことが重要であるか。児童の実態、社会・教育の動向、12月の保護者の皆様からいただいた学校評価アンケート等を生かし、しっかり検討し具現化できる今年度二学期後半・来年度にしていく所存です。

本年も、昨年同様、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様には、ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



生活目標 「健康に注意し体をきたえよう。」
 あいさつ目標 「まちがいはすなおな気持ちで『ごめんなさい』」
 保健目標 「朝の排便習慣を身に付けよう。」
 給食目標 「食べ物大切にしよう。」

平成 26 年 1 月 行事予定

1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終了
8	水	冬季休業日明け授業開始 給食始
9	木	安全指導日 委員会活動 身体測定(1)
10	金	身体測定(2)
11	土	ドリームハッピー PTA運営委員会
12	日	
13	月	成人の日
14	火	身体測定(3) 読書旬間始
15	水	月曜授業 身体測定(4)
16	木	避難訓練 身体測定(5)
17	金	身体測定(6)
18	土	連合図工展始
19	日	
20	月	クラブ活動 校内書き初め展始
21	火	
22	水	学校公開日
23	木	連合図工展終
24	金	
25	土	連合書写展
26	日	連合書写展
27	月	クラブ活動
28	火	
29	水	
30	木	校内研究授業(2-2)
31	金	社会科見学(5年) 読書旬間終

ドリームハッピーについて

1月11日は、土曜授業ですがドリームハッピーのため、児童が多数校舎内を移動しますので、保護者の参観はできません。ご理解よろしくお願ひします。

学年の窓～3年生～

「立派な大根に感謝」

総合的な学習で、保戸塚さんの畑で種まきをさせていただき、お世話をさせていただいてきた大根の収穫をしました。「大きなかぶ」に負けない「大きな立派な青首大根」になり、おうちの方々も驚かれたようです。子供たちが調べた大根料理のほか、各ご家庭で工夫をしてくださりおいしくいただくことができました。大人でも抜くのが大変だった「練馬大根」は、保戸塚さんのお力をお借りして学校職員でたくあん漬けにしました。感謝の気持ちで、1月末に漬け上がるたくあんを待っている3年生です。

「あいさつ運動」

12月は3年生が担当でした。
 「はじめは、きんちょうしたけれど、声を出しているうちにどンドンきんちょうがほぐれていった。」
 「大きな声であいさつするとみんなが返してくれてとてもうれしかった。」
 「心から気持ちをこめて言うことも大事だということに気がついた。」
 「これからも、自分からあいさつをしようと思った。」
 と、「あいさつ運動」を体験したことによってあいさつの大切さを感じることができました。この気持ちを持ち続け元気なあいさつを続けられるように励ましていきます。

1組担任 浅見英子

2組担任 三浦聡子

校内書き初め展について 書写担当 2年担任 高梨 希美

1月20日(月)から24日(金)までの5日間、各学年・学級の書写の授業で取り組んできた「書き初め」が、各教室の廊下に展示されます。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の作品です。

他教科と同じように書写の授業においても、学習のめあて(字の形、筆の運び方など)をもって「書き方」を学びますが、それ以外にも「正しい姿勢で書く」「一字一字、集中して書く」など、書き初めに取り組む姿勢も同時に学びます。1つの作品を書きあげるまで、一字一字最後まで集中し、真剣になって自分の字と向き合う子供たちの姿を見ていると、子供たちにとってとても貴重で大切な時間なのだと改めて感じさせられます。

ぜひ、22日(水)の学校公開日には、授業と併せて、子供たちの気持ちがこもった力作を、じっくりとご覧いただければ幸いです。